|  |
| --- |
| ２０１５年 10月　No. 50  　日本比較文化学会  **JACC　比較文化会報**  **本部事務局**：〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番  愛媛大学 教育・学生支援機構 英語教育センター  藤岡克則研究室内  **会長室**：〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1　高知大学人文学部  奥村訓代研究室内  **学会HP**：http://www.hikakubunka.jp/ |

**《会長 巻頭言》**

**日本比較文化学会会長 奥村 訓代**

　2015年度も、はや半分が過ぎてしまいましたが、皆様に於かれましては研究に、そして本業の授業にと益々ご発展の事だと思います。さて、本会報も50号という区切りのよい年となりましたが、これも会員の皆さんお一人お一人のお蔭だと深く感謝しております。

　今年は特に海外の連携学会でも話題が多く、台湾日本語文学会においては、７月に北九州国際会議場（昨年度本学会の全国大会使用会場）にて第４回村上春樹国際学術大会が、日本語で北九州市長挨拶のもと盛大に開催されました。また、韓国日本文化学会に於いては、日韓交流50周年記念大会が10月に開催されるなど多彩な年となりました。

　勿論、当学会も６月に第37回全国大会を2015年度国際学術大会と銘打ち創価大学で開催し、関連学会の台湾、韓国のみならず、中国、マレーシアなどアジアを中心とした多くの国からの参加者を得て、盛大に開催されました。

そして、次年度からは国際学術大会に対する海外からのアクセス者の為に、英語表記のHPの充実や英語による口頭発表部会も検討中ですのでご期待ください。さらには、HPの多言語化も将来的には視野に入れています。

　最後になりますが、次年度開催は国立大学法人のクウォーター制度導入を鑑みて５月21日開催となりました。また、その結果会場が弘前学院大学に変更になりましたので今からご記帳・ご準備願えれば幸いです。

　全国大会や支部大会などで皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

**《2016年度の全国大会（国際学術大会）の日時・会場決定のお知らせ》**

会場：弘前学院大学（青森県）　　　日時：2016年５月21日（土）

（時間詳細は、プログラム決定後となります。）

**《報告：日本比較文化学会第37回大会》**

**（2015年度日本比較文化学会国際学術大会）**

**関東支部長　近藤 俊明（東京未来大学）**

**大会実行委員長　鈴井 宣行（創価大学）**

　2015年６月13日（土）に、東京・八王子市の、新緑豊かな創価大学キャンパスにおいて、第37回全国大会が開催されました。今回の大会は、第１回「国際学術大会」という、今後の学会の方向性を考える上で大変意義深いものでもありました。好天のもと、韓国、台湾の提携学会を含め、約90名の参加者を得て、盛大な大会となりました。

午前には、奥村会長挨拶、奨励賞授与、総会の後、シンポジウム「比較文化学における研究倫理」が開催されました。海外２名、国内６名のパネリストによる広汎な領域からの発表があり、フロアーからも多くの質問・意見が出され、活発な議論が展開されました。

　午後からは、テーマ別による分科会が、９会場（１会場６名の発表者）に分かれて行われました。発表者のテーマ・要旨に共通性のあるものを、一つの会場に集めることで、同じ領域に興味のある方々が一堂に会し、より深い議論が可能になったと思われます。また、教室間の移動の煩雑さを減らすことも出来たように思います。

最後に、創価大学の花見常幸副学長補から、「大学における研究倫理―創価大学の取り組みを通して―」と題した、「特別講演」がありました。本学会においても、また会員個人にとっても「研究倫理」は極めて重要な課題であり、学ぶところが大であったこと、ここに再度、深謝いたす次第です。

　全プログラム終了後、創価大学内のレストランで懇親会が催され、約50名の会員や関係者が参加しました。

追記）本大会において、初めて、学会ホームページに大会要旨（論題と発表者氏名のみ）を掲載し、要旨そのものは大会参加者のみに配付するという形を取りました。これは大会経費を抑える試みとして、理事会の決議に基づき実施しました。

**《編集委員会報告》**

**編集委員長　北林 利治**

　2015年度日本比較文化学会『比較文化研究』編集委員会が、2015年６月12日に開かれました。そこでの決定事項は、理事会の承認を得て、すでに学会のウェブサイトに掲載してありますが、投稿規定の変更の要点は次の通りですので、ご投稿の際にはご注意をくださいますようにお願いいたします。

1. 投稿資格を「投稿時点で当該年度の会費が納められていなければならない」としました。また、一昨年、年間掲載論文数を最大２編（共著も含む）までとしましたが、さらに、「同一論文を異なった支部の投稿先に同時に投稿してはならない」という文言を規定につけ加えました。

2. 投稿にあたっては、これまで原稿３部となっていましたが、最近の編集作業はファイルでの作業が多いので、「原稿１部とe-mailでの添付ファイル」にすることが確認されました。

3. これまで、英文レジュメは別途添付することになっていましたが、今後は、原稿の中に要旨を入れ込み、出来上がりの体裁として投稿をするように投稿規定を改訂しました。

今年度は日本比較文化学会奨励賞を授与することができました。受賞者は目黒志帆美氏（東北大学大学院国際文化研究科専門研究員；論文発表時は東北大学大学院博士後期課程）、受賞論文は「アメリカ宣教師のフラ観―1820年代のハワイ文化をめぐる言説とその意味―」（『比較文化研究』No. 116）です。アメリカ人のハワイ入植期における宣教師のフラ観を分析し、ハワイ支配構築との関係を明らかにした論考で、比較文化学の構築にも貢献するものとして高い評価を受けました。

本年度大会のシンポジアムのテーマは「比較文化学における研究倫理」でしたが、「日本比較文化学会研究倫理基準」の第４条にある「研究者は（中略）他の専門研究分野を尊重する態度を持たねばならない」や、海外と姉妹学会をもつ学会として、「研究者は、他の国・地域・組織等の研究活動における、文化・慣習・規範等の理解に努めなければならない」などは、論文執筆の際には常に心に留めておかねばならないことでしょう。「投稿規定」には「論文の内容・文体などについては、多様な専門分野の研究者のリーダビリティーに十分に応えるものとすること」という一文があります。他分野の研究者によく納得してもらえるように分かりやすく論文を書く執筆態度が、比較文化学といった学際的性格が強い分野ではいっそう求められるのではないかと感じています。

編集委員会は会員のみなさんからのご投稿をお待ちしています。

**《『比較文化研究』第 114号に関する「お詫び」と「防止対策」に関するお知らせ》**

**日本比較文化学会　会長　奥村 訓代**

**編集委員長　北林 利治**

昨年度発行の『比較文化研究』第 114号のシンポジウム原稿に、2013年度のシンポジウムで司会をされた山内信幸先生の原稿が紛れたまま印刷されてしまっていたことが、先日判明しました。 発覚後1か月以上の慎重な調査の結果、原稿混入原因は、前年度の原稿をサンプルとして作成している過程での単純な混入ミスであり、その他に過不足はないと判明しました。本件につきまして、学会員の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを、編集委員会および本部事務局より、この場を借りて深くお詫び申し上げます。今回の件を本部としては重く受け止め、各支部編集後の最終チェック体制の見直しを検討中で、今後この様なミスの生じないよう努めたいと思います。どうぞ、ご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

**《総会報告》**

**事務局長　藤岡 克則**

2015年６月13日（土）、第37回全国大会が東京都八王子市の創価大学にて開催されました。

　はじめに同日午前に開催された理事会の議を受け、2014年度事業報告、2014年度決算報告および監査報告が行われ、そして2015年度予算が承認されました。

　なお、今回の総会では、大会運営に関わる２つの事項の変更が承認されました。１つ目は、2016年度以降、全国大会を国際学術学会と改称する旨であり、これは海外の提携学会との相互参加が活発化している状況に対応するためのものです。２つ目は、開催時期を2016年度以降原則５月３週目とする旨であり、こちらは国公立大学がクォーター制に変わるにあたっての、運営や会員諸氏の参加の便宜のためです。

　大会時期の変更に伴い、今後、発表募集の公示開始や締め切りの日程にも変更が生じます。公示開始は12月頃、発表申込締め切りは２月頃を予定しています。学会ホームページにてご確認ください。

　また、今回の総会では投稿規定に関わる変更点が報告されました。この会報の編集委員会報告で主な変更点が挙げられていますので、ご覧ください。

**《2014年度決算・2015年度予算報告》**



**《支部報告》**

**東北支部**

＊[報告]

９月19日（土）午後13:30より関東•東北支部合同例会が、神田外語学院にて開催されました。東北支部からの発表者は１名でした。木鎌耕一郎先生（八戸学院大学）が、「ヨハネ•パウロ二世によるユダヤ教との対話」という題目で研究発表をしました。（その他の発表者については関東支部報告を参照して下さい。）例会終了後、懇親会が開かれ、盛会となりました。

　関東支部の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございます。

支部長　佐藤 和博

**関東支部**

＊[報告]　東北・関東支部合同例会

日時：2015年９月19日（土）13:30~17:30

場所：神田外語学院　３号館

プログラム

１．例会開会の挨拶　関東支部長　近藤 俊明（東京未来大学）

1. 研究発表

司会：花澤　聖子（神田外語大学）

(1) 平澤 洋一（広島大学）・橋本 恵子（福岡工業大学短期大学）・連 婷婷（東京大学大学院）

「日本文化のミーム試論」

(2) 武富 利亜（明治大学）「カズオ・イシグロのNever Let Me Goの小説と映画を比較して」

(3) 木場 耕一郎（八戸学院大学）「ヨハネ・パウロ二世によるユダヤ教との対話」

(4) 金 光一（宇都宮大学大学院）「日本知識人が眺めた近代朝鮮―朝鮮滞在期の安倍能成を中心に―」

(5) 金塚 基（東京未来大学）「非正規雇用の外国人家庭に対する地域支援活動事例の考察」

1. 例会閉会の挨拶　東北支部長　佐藤 和博（弘前学院大学）

＊[報告]　関東支部総会

日時：2015年３月14日（土）13:00~17:00

場所：東京未来大学　会議室１

2014年度関東支部総会

1. 総会開会の辞：議長　花澤 聖子（神田外語大学）

２．2014年度会計報告：関東支部事務局長　郭 潔蓉（東京未来大学）

３．2015年度人事案・活動計画・会則：関東支部長　近藤 俊明（東京未来大学）

４．第37回全国大会について：大会実行委員長　鈴井 宣行（創価大学）

５．総会閉会の辞：大会実行委員長　鈴井 宣行（創価大学）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　支部長　近藤 俊明

**中部支部**

＊[報告]　平成27年度第１回役員会

（前半）日時：2015年４月23日（木）16:30～17:30　場所：常葉大学

　　　（後半）日時：2015年５月８日（金） 17:00～18:30　場所：浜松学院大学

報告事項：（1）会員の入退会　（2）中部支部ニュース第７号の発行

審議事項：（1）平成27年度事業計画の実施

＊[お知らせ]　第８回中部支部大会

日時：2015年９月27日（日）13:00～16:45

　　　場所：椙山女学園大学　星が丘キャンパス　文化情報学部メディア棟001教室

プログラム

１．開会のあいさつ　澤田 敬人（中部支部長）

２．第１部　基調講演

演題：「多文化共生―これまでとこれから―」

講演者：津村 公博（浜松学院大学・中部支部副支部長）

討論

３．第２部　自由研究発表

　　司会：川口 雅也（浜松学院大学・中部支部副支部長）

白鳥 絢也（星槎大学・中部支部副支部長）

(1) 大矢 隆二（常葉大学）・安藤 雅之（常葉大学大学院教授）「カンボジアの古典舞踊にみる伝統文化教育の位置づけ」

(2) 小林 竜一（早稲田大学国際言語文化研究所）「新渡戸稲造と女子教育」

(3) 水町 いおり（中京大学・愛知学院大学）「移りゆく女性たちの表象―小説に描かれた女性像から見えるもの―」

(4) 安藤 雅之（常葉大学大学院）・大矢隆二（常葉大学准教授）「カンボジアの学校教育と教員養成に関する考察」

(5) 樋口 謙一郎（椙山女学園大学）「『留学研究』の比較的考察」

４．閉会のあいさつ　安藤 雅之（中部支部副支部長）

支部長　澤田 敬人

**関西支部**

＊[お知らせ]　10月例会

　　　日時：2015年10月31日(土)　14:30～17:00

場所：同志社大学　今出川キャンパス　神学館地下１番教室

プログラム

１．研究発表

(1) 李 増先（立命館大学衣笠総合研究機構）「ケンブリッジ大学図書館の和刻本漢籍―ロックハートコレクションについて―」

(2) 中村 葉子（大阪府立大学大学院）「朝鮮人被爆者の錯綜したイメージ―映画『倭奴（ウェノム）へ』における声と音の非同期的編集に関する考察―」

２．講演

講演者：Thomas H. Rohlich先生（スミス大学名誉教授、AKP所長）

演題：“My Fifty Years as a Japan Watcher: What have I learned?”

＊[お知らせ]

2015年度は12月と３月に例会を予定しております。今後、学会HPで詳細を告知いたします。

支部長　山内 信幸

**中国・四国支部**

＊[報告]　関西・中国四国・九州三支部合同研究会

日時：2015年８月29日（土）13:00～17:40

場所：高知大学　朝倉キャンパス　人文学部棟

プログラム

１．開会挨拶　藤岡 克則（愛媛大学・中国・四国支部長）

２．研究発表

（第１会場）

司会：岩崎 亜美（高知県立東高校）

(1) 大河原 真紀（高知大学大学院）「アニメの日本語教育への利用に関する一考察」

(2) 細木 多恵（高知大学大学院）「日本の高等学校における留学生のための教材・カリキュラム試案」

(3) 和田 義許（高知大学大学院）「高知の県民性と国際性：山岡亮一を中心に」

司会：梶原 雄（同志社大学）

(4) 趙 科（九州大学大学院）「佐多稲子が描く『大陸の花嫁』」

(5) 來田 恵美（高知大学大学院）「学習環境による『だから』の表出状況」

(6) 公文 素子（高知大学）「学生の防災視聴覚情報の認知度について：日本人学生と留学生を比較して」

（第２会場）

司会：山下 明昭（香川大学）

(7) 大岩 秀紀（徳島文理大学短期大学部）「『第5文型』再考：英語教育と英語学の観点から」

(8) 中村 友紀（関東学院大学）「近代初期イングランド演劇のパブリック圏：知の共有のネットワーク」

(9) 藤内 響子（九州情報大学）「初期近代英語における動詞の命題補部―特に数種の補部をとる動詞についての定量言語学的アプローチ―」

司会：中村 友紀（関東学院大学）

(10) 藤岡 克則（愛媛大学）「二つの文化の乖離と融合：科学と非科学の文化的考察」

(11) 八尋 春海（西南女学院大学）「翻訳を通して見るアメリカ文化―『スクール・オブ・ロック』を事例として―」

３．講演

　　司会：奥村 訓代（高知大学・日本比較文化学会会長）

　　講演者：伊井 幸夫先生（イザナギ流太夫）

　　演題：「イザナギ流を語る」

４．閉会挨拶　奥村 訓代（高知大学・主催校代表）

支部長　藤岡 克則

**九州支部**

＊[報告]　九州支部大会

日時：2015年３月７日（土）13:00～17:00

場所：福岡女子大学

プログラム

(1) 山崎 祐一（長崎県立大学）「産学連携による地域の異文化共生をテーマにした経験的英語教育の試み」

(2) 三浦 裕子（九州大学大学院）「バウムクーヘンの由来についての一考察―1970年代の日本における婚礼用引出物菓子しての原点を探る―」

(3) 藤山 和久（熊本工業高等専門学校）「高専と高校の英語教育の比較」

(4) 高瀬 博（福岡県立須恵高等学校）「これから求められる英語教育―『何を、どのように教えるべきかを考える』―」

(5) 神崎 明坤（西南女学院大学）「日中における異文化コミュニケーションに関する一考察―両国の大学生の対人関係の意識を中心にして―」

(6) 岩松 文代（北九州市立大学）「アメリカの食文化によって形成されるSUSHIの特徴」

(7) 八尋 春海（西南女学院大学）「阿蘇地域の宿泊施設の地域特性について」

(8) 濵﨑 大（長崎大学）「シルコウ『儀式』に表象されるネイティブ・アメリカンのアイデンティティ」

＊[お知らせ]

次回の支部大会は、2016年３月５日(土)に北九州市立大学で開催されます。

支部長　八尋 春海

**《事務局からのお知らせ》**

**事務局長　藤岡　克則**

○**会費納入のお願い**

会費の納入につきまして、いつもご協力いただき誠にありがとうございます。ただ最近、本部会費と支部会費の混同並びに誤送金が増えております。以下の点を再度ご確認いただき、お間違いのないようお願い申し上げます。

１）「本部会費」と「支部会費」の振込先および金額は異なります。本部では、本部会費のみの取り扱いとなります。

２）「支部会費」に関するお問い合わせは、各支部にお願い致します。

３）２年以上未納（学生会員については１年以上）の場合は、会員資格を失うことになり、再入会には時間と費用が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

以上、会費納入に関する確認とお願いまで。

＜本部会費 振込情報＞

　下記のゆうちょ銀行振替口座にお振り込みください。

**口座番号 : 02570-6-8921　　　加入者名 : 日本比較文化学会**

＊他金融機関からの振込用口座番号 : 二五九（ニゴキユウ）店（259）　当座　0008921

一般会員 : 5,000円（大学院生を含む）

学生会員 : 3,000円（学部生）

賛助会員 : 一口10,000円 （１口以上）